

2009年7月1日

## ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 「資源ファンド(株式と通貨)」

### 「ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース」を設定

～資源株への投資、資源国通貨での運用～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO: ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、追加型投信「資源ファンド(株式と通貨) ブラジルリアル・コース」、「同 南アフリカランド・コース」、「同 オーストラリアドル・コース」の3ファンド(以下、「資源ファンド(株式と通貨)」)を7月31日に設定、運用を開始する予定です。募集は7月1日から SMBC フレンド証券株式会社にて開始します。

「資源ファンド(株式と通貨)」は、主として世界のエネルギー株、素材株、農業・食料株などの「資源株」(米ドル建て)\*に投資を行いません。あわせて、資源国通貨で為替ヘッジ(対米ドル)を行なうことにより実質的に資源国通貨で運用を行いません。当該資源国通貨は、お客さまが「ブラジルリアル」「南アフリカランド」「オーストラリアドル」の3コースから選択することが可能です。また、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

「資源ファンド(株式と通貨)」は、「資源株への投資」と「資源国通貨での運用」により、以下の3つの投資成果の獲得をめざします。

#### ①世界の資源株の値上がり益と配当収益

世界的に資源需要の拡大が見込まれる一方で、資源の有限性と供給能力の限界により、今後、需給の逼迫が見込まれます。また、世界レベルで環境対応が求められるなか、代替エネルギー分野の成長も期待されています。こうした状況が、資源株の中長期的な上昇期待を支えていくものと考えられます。

#### ②為替ヘッジプレミアム(金利差相当額)

ブラジル、南アフリカおよびオーストラリアでは、これまで、米国と比べて相対的に高い金利水準を維持してきました。各コースの通貨の金利が米ドル金利よりも高い場合、その金利差相当額を為替ヘッジプレミアムとして享受することが期待されます。

#### ③資源国通貨の上昇に伴う為替差益

ブラジル、南アフリカおよびオーストラリアでは、資源需要の高まりに伴う経済成長や相対的な高金利が呼び水となって海外からの資金が流入したことにより、2007年にかけて通貨は上昇傾向となりました。2008年以降、世界的な景気後退の影響を受けて通貨は大きく下落したものの、経済成長と金利という2つの強みを武器に、これらの資源国通貨の今後の上昇が期待されます。

今後も、日興 AM は投資家のみなさまの資産形成の一助となる商品開発に尽力してまいります。

\*原則として、米国以外の取引所に上場している資源株への投資にあたっては、ADR(米国預金証書)を利用します。

以 上



## ■お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	[当初申込期間]1口当たり1円 [継続申込期間]お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込期間	[当初申込期間]2009年7月1日～2009年7月30日 当初申込期間以降もお申込みいただけます。
お申込不可日	取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2019年6月17日まで(2009年7月31日設定)
決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	2009年9月以降の毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわないことがあります。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

### <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料：お申込手数料率は、3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
- 換金手数料：ありません。
- 信託財産留保額：ありません。
- スイッチング手数料：上記お申込手数料率を上限として販売会社が定める率とします。  
※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬：純資産総額に対して年率1.76%(税抜1.71%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。  
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.05%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や運用内容の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など  
※ その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
- ※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
- ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

日興アセットマネジメント株式会社

〒107-6242 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

www.nikkoam.com

## ■委託会社、その他関係法人

委託会社	: 日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	: 日興シティ信託銀行株式会社
販売会社	: SMBC フレンド証券株式会社

## ■リスク情報

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ)など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

## ■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「資源ファンド(株式と通貨) ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家のみなさまに当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

## 日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

日興 AM は、国内初の社会的責任投資(SRI)ファンド『日興エコファンド』を 1999 年に設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ\*の運用資産残高は約 8.8 兆円に上ります(2009 年 3 月末現在)\*\*。基本的なものから革新的なものまで約 230 種類の公募投資信託を取り揃え、個人投資家、機関投資家のみなさまの幅広いニーズに応えています。東京、ニューヨーク、ロンドン、シンガポールに拠点を構え、500 名を超える従業員を擁します。

\*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含みます)。